

巴波川あつての高都とちぎ：
現代においても市民の宝：10万匹の鯉の放流によって市民が目き巴波川に向けるように



撮影：2010年8月（栃木県栃木市巴波川）

◆豊かな水源によって守られる清流

巴波川の水源地でもある思川の伏流水によって、地中の養分や炭酸ガスを多く含む水質となり、豊かな川藻が繁る川となっています。

◆水質調査を取り組む栃木高化学クラブ

東大助手時代の宇井純の指導のもと、母校の後輩たちによる継続的は巴波川（うずまがわ）の水質調査が力になって、市民自らの水質浄化活動に発展しました。

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）